第 2018-38 号

恵みと真理のニュース

2018 年 9 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]

ヤハウェ ラーパである神様は神癒の信仰を下さって病気を治してくださいました。

わたしの両親はカトリック信者だったし、私も大学に通っている時、カトリックの洗礼を受けました。しかし、小学生の教師で発令されて教職生活をしながら信仰生活をしなくて学校で勤務だけ充実して生活しました。私が結婚した当時、私の妻は教会を通いました。私が始めて教会に行ったきっかけは妻が神様に祈って切ない心で勧めたからです。そうすると１年だけ通うと約束しました。主日に教会に行って説教を聴いて帰って来るくらいの信仰生活をしましたが、主日は特別なことがないかぎり、妻と共に教会に行きました。ところが、金曜徹夜礼拝に参席しましたが、証を聞いて感動を受けてもっと深く信仰生活をするため、休みの時は教育者の修練会の断食祈り会も参席して証と説教に大きい恵を受けました。形式的でささげた祈りが変えて切ない心で祈りをするようになりました。
たまに、友達に出会って対話するとき、事業をする友達と私を比較しながらなんか私だけみすぼらしく感じました。実は教職生活に対するビジョンがなく、どうすれば教職を辞めようかと悩みが多かったです。それで、決心をして教職を辞めて事業をしようと漠然とした考えで神様に祈り始めました。
そうしながら、区域長のかばんを持っている区域長を見るとうらやましかったです。その後、１９８１年６月３日1代教区のアンヤン聖殿1－11教区の区域長で任命を受けました。区域が出来て 聖書を読み始めて頑張って区域礼拝を導いて伝道もしました。
そうするうちに、ある主日に礼拝を捧げてバースを乗って窓から眺めるとアンヤン女子高校の正門の向こうでオレンジ色で飾ってある店が強く目に入ったか家に帰ってもその店の印象が消えませんでした。おかしいと思って夜またその店に行ったら台所の流し台の店でした。当時は流し台の店が ありふれなかった次代です。
私は教会を出席しながらすぐ十分の一の献金を捧げました。十分の一の献金を捧げる時は聖書のマラキ書3書にある“十分の一の献げ物をすべて倉に運び／わたしの家に食物があるようにせよ。これによって、わたしを試してみよと／万軍の主は言われる。必ず、わたしはあなたたちのために／天の窓を開き／祝福を限りなく注ぐであろう。また、わたしはあなたたちのために／食い荒らすいなごを滅ぼして／あなたたちの土地の作物が荒らされず／畑のぶどうが不作とならぬようにすると／万軍の主は言われる。諸国の民は皆、あなたたちを幸せな者と呼ぶ。あなたたちが喜びの国となるからだと／万軍の主は言われる。”は御言葉を読みながら祈りました。
その時はカチョンにアーパトが多い団地で別れ建築されていて建設会社では壁や天井を紙で貼ることや照明や流し台などを提供しなく入居者達がやらなければならないのを知るようになりました。すると、この前、流し台を見る瞬間、“強い印象を受けた理由がここにあるのだと、これは神様の導きだと思いました。それで、祈りながら実践しようと決めました。”
店を準備するために多方面で調べましたが、店が良くて権利金と家賃がとても高くて収支も合わなくて迷いました。その時、知り合いの方から紹介されて不動産の店をするため板を準備しておいた方が、それを買って臨時に店を作るのはどうなのか提案しました。その当時の土地の補償が自給されキョンギドのカチョンの市役所が管理する空き地がありました。ちょうど私と同じ考えでソウルから来た若い方が照明の店を作るため調べているとき、私に出会うようになりました。若い方がわたしの話を聞いてすぐ50万ウォンを私に渡して推進したら良いと話しました。
あなたと私が招待面なのに私をどう信じてお金を渡すのかと聞いたら、先生だから信じられます。と言いながら推進しようと励ましました。今、考えると私がそんな勇気をしたか驚くことです。その後、照明者と共同で投資するとして大工を探して店二個を作り、私は亀印の流し台の本社に行って代理店を契約して税務署に行って事業者登録手続きも終えました。品物を陳列してわたしの妻が管理しながら職人を1人雇って商売を始めました。照明店をしようとした方も同時に開業しました。
妻が商売の経験がなかったので初めは試行錯誤が多かったです。その次の年に照明店の事業の経営が大変になって私に店を買収してほしいと言われたので、それじゃ、私がどうしてあげればいいのかと言ったら木材価格だけでもよいから、買収しようと誘ったので本人が要求するとおりにしました。数ヶ月後、アーパトの入居がある程度、終わりになって不動産の主人が我が店の商売がうまく出来ないのを見て店を自分に渡さないかと言われたので、不動産で一件二件したらよいので　600万ウォンを渡すといって店を始末しました。1980年代だったので当時、600万ウォンは高い金額でした。その後、調べた後、事業者登録になっている事業者は営業補償してくれると聞いて、 今までの実績と資料を書類で集めたら提出したところ相当な補償金が出ました。思いもなかった補償金を受けるようになって好きでしたが、何よりも充分の一献金を捧げたい希望が成し遂げられて嬉しかったです。
店を始末した後、教師の職業が大事であることを悟るようになって教職を天職で心得て誠実に勤務したら教長で昇進されました。定年退職した後、過去を振り返って見ると 私達の心の考えを導いてくださり、時ことに適切な助けてくださる神様に感謝と賛美を捧げました。退職した後に教会で主な職分を受けて信仰生活にもっと力を尽くすようになりました。
2014年11月に同じ部署で奉仕する方々と共にカンウォンドにあるミンドウ山を登りましたが、以前と違って足が重くて息がつまって苦しかったです。“老けたな。”と思いながら無事に日程を終えて 家に帰りました。その翌年の春に2年ことに健康保険管理公団で実施する健康検診を中央大学病院で受けました。病院で検診した結果を電話で聞きました。貧血数値があまりにも低くてもう一回、血液内科に行って検査を受けるように勧めました。そして、血液内科で予約して血液を採取した後、結果を聞くため病院に行ったら、医師が検査の結果を見て、今の体の状態を問いかけ、また、血液を採取し一日入院して骨髄検査をすると言われました。骨髄検査はとても大変でした、骨髄採取した後、血を止めるため動かなくて砂袋をつけて何時間ずっとまっすぐ横になって苦痛でした。検査結果の後、結果の話を聞いたが、多発骨髄症で2つは、充足したが、1個がまだそこに到達していないとし、多発骨髄症の前段階で血液癌で判断して後で抗がん治療をしようとしました。そうしながら、輸血をしようとして2回にかけて輸血を受けてその数値が少し向上しましたが、正常にはならなかったです。医師は、まもなく多発骨髄症になるから健康保険管理公団で算定特例者としても申し込んでその間の高額の検査量を事務科で払い戻しを受けるようにしてくれました。私が、インターネットで多発骨髄症に対する病の状態と治療に権威ある病院と医師を調べた後、今まで治療を受けた担当医師にこの過程を詳しく話して、今までの診療書類をコピーしてその医師を探して行ったら、医者が年寄りで自分がする治療方式は難しいとして同じ病院の他の医師に診療を委ねました。ここでも血液検査と骨髄検査をしたがこのときが2015年7月でした。
この病院では診療相談の以後、白血球のヘモグロビンと血小板の正常数値と現在検査をした私の数値を書いてくれてすべての数値が正常の半分の程度しかならなかったです。医師の指示通りに20日以後に再び検査をしてみたらまだは抗がん治療を受ける段階ではないので毎月、血液検査をしながら見てみましょうとしました。その時から私は毎度、検査結果と数値と日付を記録して比較しました。この記録の結果を持って当会長の牧師に話したら切ない心で祈ってくださいました。祈った後、聖書で癒しに関する御言葉と重要な成句を100個くらい暗記しなさいとしました。そうして、神癒の信仰が出来ると治ると話しました。
それで、私たちの夫婦は毎朝夜、聖書、創世記6枚ずつ読んで祈りながらとても重要な区節と癒しの御言葉をメーモして整理して聖書を読んでまた、読みました。暗記力があまりよくなくて覚えられなかったですが、毎日読んで祈る習慣を持つようになりました。何日後、牧師の夫人から癒しの御言葉が書かれた A4用紙2枚をくれました。分量が多くなくてメーモしてポケットに入れて歩きながら祈りました。そうしたら、癒しに対する確信が心に残りました。毎月一回ずつ血液検査だけして他の治療をしなかったが、徐々にその数値が上がって翌年の12月についに正常数値になりました。ハレルヤ！
その後、三ヶ月に一回検査したのを今、六ヶ月に一回しています。健康状態が良くて今まで休んだ奉仕も再び始めました。
ヤハウェ.ラーパである神様が私に信仰を下さり、病気を癒してくださいました。約束の御言葉と信仰を下さって神様の権能と愛に対する体験をもっと豊かにする神様を賛美します。
“ 実に、信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです。”（ローマ信徒への手紙10：17）

[信仰コラム]　優 先 順 位

＂まず 神の 國と 神の 義とを 求めなさい.　そうすれば, これらのものは,　すべて 添えて 與えられるであろう.　＂（マタイによる福音書6:33）

その人が持った信仰や哲学は彼が物を選択して事を処理する態度に影響を及ぼします。ここで言う哲学とは世界観や人生観等を指すことです。物を選択して事を処理する態度の核心は優先順位です。全ての人が優先順位に扱うべきことについて調べてみましょう。
第一は、自分の理性より神様の啓示に優先順位を置くべきです。
理性とは物の理知を論理的に考えて判断する心の作用を話します。しかし、私達が理性万能主義、理性第一主義に陥ってはなりません。人間の理性では分からなく、できないことがとても多くあります。人間に理性を与えてくださった神様はその上に驚くべきな恵みを施されました。それは神様の啓示です。神様の啓示は聖書に記録されています。啓示は理性より次元が高いです。従って、神様が啓示なさった御言葉は人間の理性だけでは完全に悟ることができません。救いの恵みと真理、生まれ変ることの真理を理性だけでは到底悟ることができません。イエス様の再臨と聖徒の携挙と復活そして新たな天と新たな地、そして新たなエルサレムに対する啓示の御言葉も人の理性だけでは悟ることができません。
このような啓示の御言葉を人間の知識と経験の中で説明しようとするので聖書を歴史学、考古学、言語学、文学等で批評して科学で説明できない超自然的な奇跡としるしに関する部分を神話に規定して非神話化する作業をするようになりました。そうして非聖書的な神学思潮が教会を蚕食して聖書的な信仰を持つことを妨げます。人間の理性より神様の啓示に優先順位を置いて行う人は神様が啓示なさった御言葉が理解できなくても信じて理解ができなくても従いながら生活します。
第二は、財物より信仰に優先順位を置くべきです。
人が財物を豊かに所有しようとすることは正常的な欲望です。しかし、私達が注意すべきのことは物質万能主義、物質第一主義に片寄らないようにすべきです。財物より神様に仕える信仰が優先されるべきです。このような優先順位が変わるとたくさんの所有物が福ではなく呪いになります。アブラハムは財物より信仰に優先順位を置いて生活したが、その反面彼の甥ロットは信仰より財物に優先順位を置いて生活しました。神様がソドムを硫黄の火で審判なさる時、ロットは財物を全て失いロットの妻は財物に恋々として塩の柱になってしまいました。
不信者である両親や配偶者が親かイエス様か、夫かイエス様か両者択一しなさいという無知な要求をする場合があります。これは両者択一の問題になりません。人は神様と比べる対象ではありません。不信者の中にはキリストを信じる信仰を持つと無条件に憎んで逼迫する人もいます。真実な信者はそのような逼迫に屈服しません。信仰が肉親の命より尊いということを知っていて信仰が優先順位であるからです。
第三は、人々の思いと状況より神様の思いに優先順位を置くべきです。
民主主義は多数決を原則とします。しかし、多数の決定が必ず正しいのではありません。聖徒は多数の思いを尊重するがしかし、神様の思いを尋ねるべきです。現実状況や多数の主張と思いがどうであれ、神様の思いに従って行動すべきです。
紅海の前に至り、後ろに追撃するエジプト軍隊が走ってくるのを見たイスラエルの民達が叫びながら神様とモーセを恨んだ時、指導者であるモーセはこのような民達に圧倒されませんでした。神様に向いてお祈りして神様の思いを知って神様の思いを従って行動しました。多くの人の思いより神様の思いを優先順位として扱いました。
人生の成功失敗の関鍵は優先順位の決定にあります。イエス様は＂まず 神の 國と 神の 義とを 求めなさい.　そうすれば,　これらのものは,　すべて 添えて 與えられるであろう。＂と言われました。
「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

聖徒の信仰を形成する四つの柱

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

家が安全に保つためには柱、梁、鳥居、垂木、屋根、壁などが十分に堅くである事です。その中で最も重要なことは、柱です。柱がなければ家を建てることができません。柱が不良か、壊れたら家は崩壊の危険に置かれます。私たちの信仰も柱の役割をすることがあります。家を立てている 4 つの柱があるように、信仰を完全に維持するための 4 つの要素があります。これらの要素を説明するのに適切な単語があります。これは信仰の核心を分かりやすく説明することができるようにしてくれます

第一は、「そうであるにもかかわらず、〃です。

ロ―マ人への手紙 3 章に記録されることを**「すなわち，すべての人は罪を犯したため，神の栄光を受けられなくなっており彼らは，価なしに，神の恵みにより，キリスト イエス によるあがないによって 義とされるのである」（ロ―マ人への手紙 3：23,24）**しました。この言葉は、人間の悲劇的な実像を二つに示します。そのうちの一つ、すべての人が神に対して犯罪者ということです。他の一つは、罪を犯した人間は、神の栄光を受けられないということです。 神の栄光を受けられないということは、死んだ後に天国へ入らず、地獄の刑罰に処するようになることを意味します。このように可憐な人生に神が恵みを与えていました

「価なしに，神の 恵みにより キリスト イエス によるあがないによって 義とされるのである」神が神のひとり子イエスをこの世に送られました。イエスは、私たちの罪を代わりに担当して十字架につけられ死なれました。そして、誰も、キリスト・イエスを信じて受け入れれば義となって得ていただきます。これを指して「キリスト・イエスにあるあがない」と呼び、「神の恵み」と言います。

したがって、これらの恵みは、「そうであるにもかかわらず、〃すなわち恵みです。罪が多いにもかかわらず、キリスト・イエスを信じれば救いを得るのです。罪が多いにもかかわらず、キリスト・イエスを信じれば義とされます。醜さにもかかわらず、キリスト・イエスを信じると永遠の命を得ます。傷が多いにもかかわらず、キリスト・イエスを信じれば天国に入ります。「そうであるにもかかわらず、「施し恵みによるの救いです」

第二は、「そういうわけで」です。

ロ―マ人への手紙 12 章に記録されることを**「兄弟たちよ．そういうわけで，神のあわれみによってあなたがたに 勧める．あなたがたのからだを，神に 喜ばれる，生きた，聖なる 供え 物としてささげなさい．それが，あなたがたのなすべき 靈的な 禮拜である あなたがたは，この 世と 妥協してはならない．むしろ，心を 新たにすることによって，造りかえられ，何が 神の 御旨であるか，何が 善であって，神に 喜ばれ，かつ 全きことであるかを，わきまえ 知るべきである」（ロ―マ人への手紙 12：1,2）**しました。

ロ―マ人への手紙 11 章までは、神の恵みによる救いの真理を説明しました。〃したがって、あなたがたの体を神に喜ばれる聖なる **生きている供え物**にささげなさい」神の恵みによって救いを得た者がなったので、「そういうわけで、あなたがたは、この世代を見習わはないでください」と言われました

エペソ人への手紙 5 章 8 節と 9 節には「あなたがたは，以前はやみであったが，今は 主にあって 光となっている．光の 子らしく歩きなさい 光はあらゆる 善意と 正義と 眞實との 實を 結ばせるものである」しました。

前は暗だったが私たちは、キリスト・イエスにあるあがないによって、神の恵みで光になった今は光になったから、光の子供たちのように行いなさい」「すべての善意と正義と真実という実を結ぶようにしなさい」という、命令を受けた者がなります。聖徒の皆さんは、「私は義とされた。「**そういうわけで**、主の仕事に勤めて生きていきます。」「私は光の子供になりました。「そういうわけで」聖なる義で生きるのを努めます。」と考えていう行動してをください

第三には、「そうでなくても、〃です。

ヘブライ 3 人の青年、シャデラク，メシャク，アベデネゴ すべての聖徒たちに、「そうでなくても、〃と呼ばれる信仰の偉大な例です。バビロン帝国の王ネブカデネザルがドラ平地に金の像を立てました。すべての総督とすべての官僚が 金の像の除幕式に出席しました。王の命令を頒布するメッセンジャー管が大声で叫びました。「王があなたがたに命令する、すべての楽器の音を聞けば、金の像を拝せよ。誰もが礼拝していない者は、すぐに激しく燃い炉の中に投げ込まれるのだ。」シャデラク，メシャク，アベデネゴ を除外してすべての人が金の像を拝みました。ネブカデネザル王が非常に怒り、3 人をくるようにして言いました。

「シャデラク，メシャク，アベデネゴ ネゴよ、あなたがたが もし，角笛，横笛，琴，三角琴，立琴，風笛などの，もろもろの 樂器の 音を 聞くときにひれ 伏して，わたしが 立てた 像を，ただちに 拝むならば，それでよろしい．しかし，拝むことをしないならば，ただちに 火の 燃える 爐の 中に 投げ こまれる．いったい，どの 神が，わたしの 手からあなたがたを 救うことができようか」．シャデラク，メシャク および アベデネゴ は 王に 答えて 言った，「ネブカデネザル よ，この 事について，お 答えする 必要はありません．もしそんなことになれば，わたしたちの 仕えている 神は，その 火の 燃える 爐から，わたしたちを 救い 出すことができます．また 王よ，あなたの 手から，わたしたちを 救い 出されます．たといそうでなくても，王よ，ご 承知ください．わたしたちはあなたの 神に 仕えず またあなたの 立てた 金の 像を 拜みません」（ダニエル書 3：13~18）

ハバクク預言者も、私たちに「そんなにしないでも、〃という信仰を表明しました。ハバクク 3 章にこう記録されています。**「いちじくの木は 花かず，ぶどうの 木は 實らず，オリブ の 木の 産はむなしくなり，田畑は 食物を 生ぜず，おりには 羊が 絶え，牛舍には 牛がいなくなるしかし，わたしは 主によって 樂しみ，わが 救の 神によって 喜ぶ」（ハバクク書 3：17,18）**驚くべき恵みの信仰表現です。

第四は、「しかし」です。

私たちの人生の道には、いろいろの困難と危険が迫ってきます。このような時の聖徒たちが大胆に行動することができる理由は、「しかし、」という言葉をすることができる保証があるからです。父なる神がおられるからです。

ダビデの生涯を見てみると、彼は苦境に直面したときに、神を頼りにして見て 〃しかし〃と言う信仰を持ったことをわかります。ゴリアテとの戦いで見せた彼の勇気は、彼が神を頼って、「しかし」と思っているところで出てきたことです。ゴリアテがイスラエル軍に向かって叫びました。 「あなたがたは一人を抜いて私に降りておくれ。もし彼が戦って私を殺すことができれば、私たちは、あなたのしもべになるものであり、もし私が彼を勝って殺したなら、あなたがたは、私たちの奴隷になって、私たちを仕える。 〃ゴリアテの壮大な姿とその力強い声を聞いて、イスラエルの軍事の中からには人がいなかった。その時途端に、ダビデがサウル王の許可を受けて手に棒を持ってなげ石を持ってゴリアテに向かって行きました

ゴリアテが自分の神々の名前でダビデを呪いしてダビデが応じました。**「ダビデ は ペリシテ びとに 言った，「おまえはつるぎと，やりと，投げやりを 持って，わたしに 向かってくるが，わたしは 万軍の 主の 名，すなわち，おまえがいどんだ，イスラエル の軍の 神の 名によって，おまえに 立ち 向かう．きょう，主は，おまえをわたしの 手にわたされるであろう．わたしは，おまえを 撃って，首をはね，ペリシテ びとの 軍勢の 死かばねを，きょう，空の 鳥，地の 野¿のえじきにし，イスラエル に，神がおられることを 全地に 知らせよう．またこの 全會衆も，主は 救を 施すのに，つるぎとやりを 用いられないことを 知るであろう．この 戰いは 主の 戰いであって，主がわれわれの 手におまえたちを 渡されるからである」（サムエル記上 17：45～47）**

ダビデが走っていきながら石を投げ回して投げる石矢のように飛んでゴリアテの額を突き抜けていきました。ゴリアテが地に倒れました。ダビデは万軍の主、主に頼ったので、ゴリアテの威勢と脅迫に対しても「しかし」と大胆に立ち向かいました。聖徒の皆さん、問題に会って、自分の不足と柔らかくを感じたときに、神を見てください。神の力と愛を頼って、「しかし」と思って言うのを大胆に対処してをください

私たちは罪を犯し、不義で醜く愚かな人生です。「それでも、「キリスト・イエスにあるあがないによって、神の恵みによって救われました。「ですから、「私たちは救われた人だけあって、神の子どもらしく、聖徒であって、正しいらしく善と正義と真実に生きて行き。私たちが望んで好きにいなくても、落胆することはありません。神は私たちに与え、最終的な勝利と栄光を用意し導かれることを信じなければならないです

ヘブライ三人の青年のように、「そんなにしなくでも、〃と言いなさい。ハバクク預言者のように「なんにもいなくでも」と歌って賛美する態度を堅持してください。世の中に大小の問題が押し寄せてきて四方に囲ま積み重ねでくるになった時、上記を眺めてみてください。神を待ち望んでください。そして言いなさい。「しかし、「神は私を離れることなく、私と一緒におられます。「しかし、「神は、そのさらなる知恵と能力で助けてくださいます。「しかし、「神は私を愛しておられます。そして、そのすべての状況を逆転させておく　神の恵みを体験してをください。